

# 学生セッション 「学生と考える～未来ワークショップ」 結果概要



Mr. OPoSSuM

2023年9月  
原子力損害賠償・廃炉等支援機構



<https://www.freemap.jp/>

広野町・楢葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村

# 開催概要

## ➤ 目的

- 1F廃炉への関心の喚起及び理解の促進
- 地元高校生の声に耳を澄ませる
- 第7回廃炉国際フォーラム( )DAY1「地域の皆様と考える廃炉」のイベント

( )8/27(日) 双葉町産業交流センター (F-BICC) 及び伝承館で開催しました。 <https://ndf-forum.com/>

## ➤ 日程

事前ブリーフィング：7月21日(金) 16:00-17:30 オンデマンド対応あり  
学生セッション・未来ワークショップ：8月5日(土)、6日(日)

## ➤ 参加者

- 福島県内の高校生・高専生(14名)
  - 参加高校 6校(会津学鳳、安積黎明、須賀川桐陽、日本大学東北、原町、福島高専)
- 引率教諭(2名)

## ➤ 協力

- 鈴木雅之(千葉大学国際教養学部副学部長、教授)
- 倉阪秀史(千葉大学大学院社会科学研究院教授)
- 千葉大学研究グループOPoSSuM <https://opossum.jpn.org/>
- 千葉大学の学生(7名：ファシリテーターとして参加)
- 福島大学の学生(1名：ファシリテーター及びスタッフとして参加)

# 学生セッションの概要

1日目には、東日本大震災・原子力災害伝承館及び震災遺構請戸小学校の見学の後、フィールドワークとして、周辺を見学することを通して、現地の様子を直に体験し、そこで感じたことを、2日目の「未来ワークショップ」での政策提言に、活かしました。

「未来ワークショップ」では、自分たちが未来の双葉地域のリーダーになったと仮定して、「望ましい双葉地域の未来を手繰り寄せるために、今何をすべきか」、ワークショップを通して考えました。

## ○スケジュール

### < DAY 0 > 事前ブリーフィング@オンライン

- ・実施概要、福島第一原子力発電所の廃炉等について説明、リアルタイムアンケート調査（NDF）
- ・福島イノベーション・コースト構想（フィールドワークで訪問）、未来ワークショップの概要・ねらいについて（千葉大学 鈴木教授、倉阪教授）

### < DAY 1 > 現地視察（バスツアー）

- ・東日本大震災・原子力伝承館（プロローグシアター・展示見学）
- ・フィールドワーク 震災遺構請戸小学校 大平山霊園 棚塩産業団地（福島水素エネルギー研究フィールド、福島高度集材製造センター、福島ロボットテストフィールド） 双葉駅周辺（2時間）
- ・地元の方との対話（任意団体なみとも代表 小林奈保子さん：1時間）
- ・「廃炉について知りたいこと」への回答
- ・1日目振り返り、チームビルディング

### < DAY 2 > 未来ワークショップ

- ・講義「データからみる双葉地方の復興状況」（倉阪教授）
- ・政策提言のためのグループワーク、グループ発表



# スケジュール(1日目)

時間	プログラム	
バス バス	8:00 会津若松駅周辺を出発～9:15 郡山駅出発（貸切バスでF-BICCへ） 9:50 いわき駅出発（貸切バスでF-BICCへ）	
11:30-12:40	開会式・アイスブレイク・昼食（お弁当）	
12:45-13:45	東日本大震災・原子力災害伝承館 見学	
13:50-15:50	<p>ホープツーリズムによるフィールドワーク</p> <p>請戸小学校(40分) 大平山霊園 棚塩産業団地（福島水素エネルギー 研究フィールド、福島高度集成材製造 センター、福島ロボットテストフィールド） 双葉駅周辺(2時間)</p>	 
15:50-16:00	休憩（おやつ）	
16:00-17:00	<p>・ホープツーリズム ヒューマンとの対話（1時間）@F-BICC 任意団体なみとも代表 小林奈保子さん 「双葉郡でのくらしーコミュニティ・課題ー」</p>	
17:20	ホテル 到着	
17:30-18:30	<p>チームビルディング・振り返り（60分） ・「廃炉について知りたいこと」の回答</p>	
19:00-20:00	夕食 以降自由行動	<やすらぎの里 双葉の杜 泊>

# < DAY2 > 未来ワークショップ

参加者は、東京電力福島第一原発の廃炉の取組、帰還困難地域の現状、復興の取組等を現地で見学した後、双葉地域の復興や廃炉に関する客観的な情報に基づいて、「何もなかった場合の未来予想」と「参加者が思い描く未来」の差を手掛かりに、今何をすべきか、を議論しました。（将来あるべき姿からのバックキャストイング）

## < 参加者のミッション >

未来を担う立場から、将来、双葉地域、浜通り、福島県をどのような地域にしていくべきかを考えてください。実現したい未来に近づくために、今から、どのような政策を実施すべきかを考えてください。

## < スケジュール >

### AM 座学

- ・講義「データからみる双葉地方の復興状況」（倉阪教授：90分）
- ・質問票を記入しながら受講
- ・講義後、質問票書き出し（5分）
- ・質問回答（10分）

### PM グループワーク

- 2050年に実現したい双葉地域の未来像を描く
- 未来像達成のために解決すべき双葉地域の課題を書き出す
- 書き出し 模造紙への展開 他のグループの作業を回覧
- 模造紙の課題部分の完成
- いまからどのような政策を行うべきか（政策提言）
- 提言項目の書き出し 模造紙への展開 提言の模造紙の完成
- いいねシール（各班を回覧し、気に入った提言にシール） 発表の準備
- ・未来世代からの提言発表（10分×4グループ）
- ・意見交換

「未来ワークショップ」は人口予測、産業構造や教育・医療・介護、公共施設・道路・農地の維持管理など10項目に関して、国勢調査や統計データを用い、いまの傾向が継続したとしての将来の推移を予測（未来カルテ）し、政策提言を行う。

なお、双葉地域は統計データに基づく予測が難しいため、復興に関する客観的なデータを用い作成している。

誰でも全国の市町村の「未来カルテ」を入手可能。



「今からどのような政策を行うべきか」  
政策提言項目の作成の様子



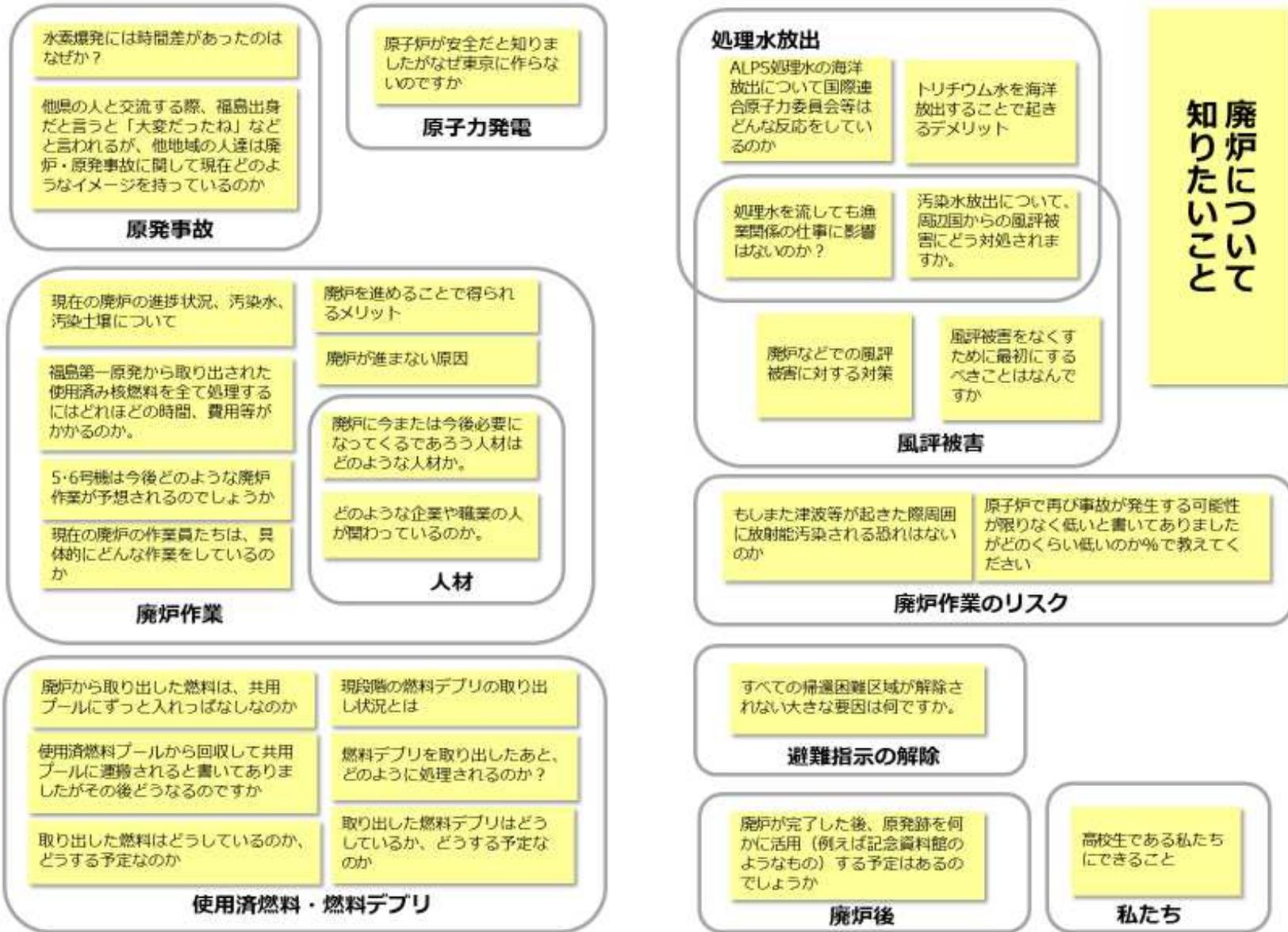
未来世代からの提言発表

## < DAY2 > 未来ワークショップでの成果

- ◆ 「廃炉について知りたいこと」については、1F構内の廃炉作業に関する質問が最も多く、中でも、デブリ燃料の取り出し作業に関する質問が多く寄せられました。ALPS処理水の放出やそれに伴う風評対策についても、多くの関心が寄せられたほか、廃炉作業のリスク、高校生としてどのような貢献ができるか、などの疑問があげられました。
- ◆ 「政策提言」については、
  - 教育の観点では、広い土地やロボットテストフィールドを活かした先端技術に特化した大学の新設、IT先進地との都市交流によって「震災のFUKUSHIMAからITのFUKUSHIMA」を目指すといった、若年層の流入や地域のPRを狙ったアイデアが出されました。
  - コミュニティづくりや暮らしやすさといった観点からは、上述の新設大学の大学生による寺子屋や、双葉地域にない医療・福祉施設等まで住民がタクシーを定額で利用し、シェアライドしてより気軽に移動できる制度「みんなでおトクに！エコタクシー」制度等のといったアイデアが出されました。
- ◆ 参加者からは「新しい学科は日本の人口やエネルギーなど課題に対応している分野だといいと思う」「ここでできない体験、学べないことを意識するいいと思う」といったコメントが出るなど、積極的な意見交換がなされました。



# < DAY1 > 廃炉について知りたいこと



※未来ワークショップに参加した生徒が書いたものをそのまま掲載しております。

# < DAY2 > 参加者からの政策提言

<p><b>乗り出し行動</b></p> <p>ボウシーやダンスなどのイベントが不足している。地域の人が参加しやすいイベントを開催してほしい。</p> <p>ネットを通じて、地元の人が積極的に参加したら、その人たちが主体的に活動してほしい。</p>	<p><b>スタンプラリー</b></p> <p>スタンプラリーやサークル活動などで場所を回る。</p> <p>サービス、割引券、優待券などの提供の仕組み。</p> <p>SNSなどで発信したら、何かサービスを受けられる。</p>	<p><b>先端技術</b></p> <p>AR/VRを使った学習スタイル。</p> <p>デジタル教材に特化したコンテンツを開発してほしい。</p> <p>AJに詳しい、強い大学を新しく作る。</p>
<p><b>交通</b></p> <p>タクシー(バス)などの定期利用客へのサービス。</p> <p>バスは増便、安くする→移動しやすい。</p> <p>観光客への安価な移動サービス。</p>	<p><b>子育て・教育</b></p> <p>児童館で子どもは関係が壊れていく。</p> <p>「子供食堂」のような子供が居られる場所を作りたい。</p> <p>オムツやミルクを返還する。</p>	<p><b>医療・介護</b></p> <p>障がい者施設を廃止した方がいい。</p> <p>誰でも使えるトイレを設置する。</p> <p>病気を患う高齢者へ、デジタル機器操作やオンライン診療。</p>
<p><b>温暖化</b></p> <p>ソーラーパネルのリサイクルを積極的にして、地味にやましいモノ(太陽光発電→リサイクル→発電→...の流れ作り)。</p> <p>再稼働可能なエネルギーをPRする資料作成、ネット上で公開。</p>	<p><b>働き方</b></p> <p>2023.8.6 政策提言のまとめ</p> <p>ふたば未来ワークショップ</p> <p>子どものために、課税やオーバーワークをなくす→企業負担増。</p> <p>企業での女性職員の雇用増を促す。</p>	<p><b>転入促進</b></p> <p>転入者に対する企業への優待策。</p> <p>転入した人が安心して暮らしたい地域にする。(ex)インシジョン、良とか。</p> <p>新しく万歳で創業始める人に支援金を出す。</p>
<p><b>施設・イベント</b></p> <p>女性を雇用するために、美容室・髪毛サロン、髪型をつくる。</p> <p>子供たちへ、サッカー教室を開く→子供が楽しい。卒業後、就職。</p>	<p><b>つながり</b></p> <p>学校で地域の人と協力して、地域の未来について考える機会をつくる。</p> <p>情報交換会(県内の関係者)→双方向の意見交換。</p>	<p><b>発信</b></p> <p>大学がボランティアを募集して、学生がボランティアを募集して、その情報を発信する。</p> <p>企業がボランティアを募集して、その情報を発信する。</p>
<p><b>防災・安全</b></p> <p>防災マップ必ず1枚は家の敷地に貼る。</p> <p>避難訓練をする。定期1。</p> <p>入居者が少ないとこに避難所を最低4ヶ所置く。</p>	<p><b>行政</b></p> <p>有数のHPや、図解、ポスターなどで政策の現状を伝える。</p> <p>政策の現状を伝える(個人、地域の)。</p> <p>町会や自治会(地域、町、市、区)の活用。</p>	<p><b>生涯</b></p> <p>地域が豊かになるのを応援してほしい。</p> <p>地域が豊かになるのを応援してほしい。</p>

# アンケート結果

- ◆ 参加生徒は、学校の先生からの紹介またはチラシ等を通して開催を知り、これらが募集方法として効果的との回答だった。
- ◆ 参加のきっかけは、「ワークショップの内容に興味があった」、「廃炉に興味があった」、「先生からの薦め」の順に多かった。
- ◆ 「ワークショップの参加を後輩に薦めたい」と全員が回答
- ◆ ワorkshopの続編があったら「参加したい」、「まあ参加したい」と全員が回答 （回答数：12名）

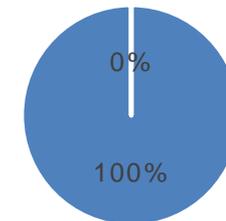
1. 今回のワークショップの開催はどうやって知りましたか。（複数回答可）

a) 学校の先生から紹介	9 (人)
b) ポスター・チラシを見た	4
c) 友人・知人から聞いた	0
d) その他	0

2. 参加者の募集について、どのような方法が効果的だと思いますか。（複数回答可）

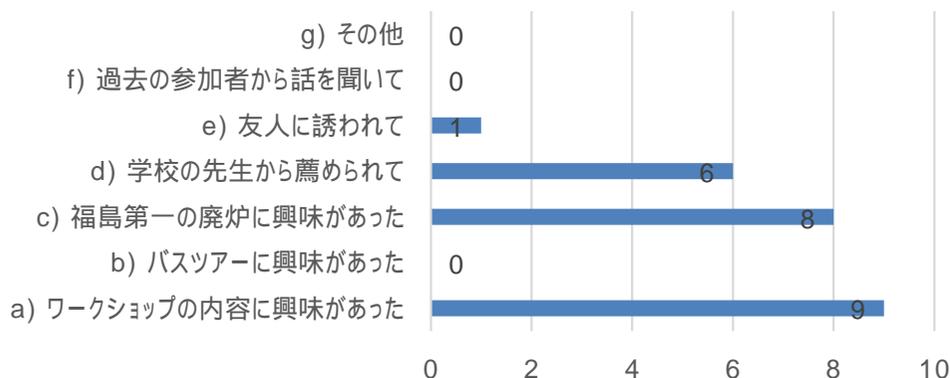
a) 学校の先生から紹介	11 (人)
b) ポスター・チラシの掲示	9
c) 過去の参加者からの推薦	4
d) SNS	4
e) その他	0

3. 友人や後輩に参加を薦めたいですか。

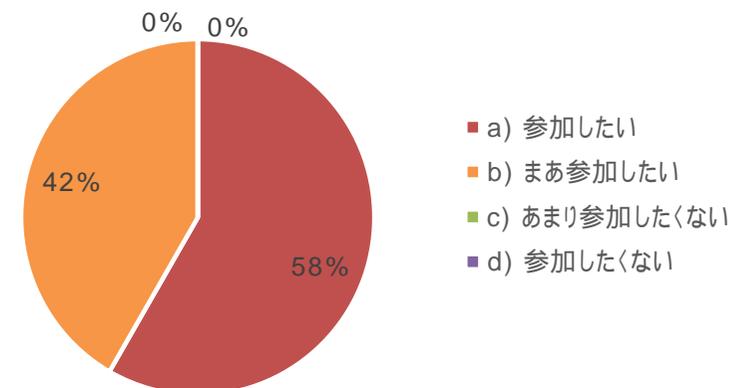


■ a) 薦めたい ■ b) 薦めたくない (理由:)

4. 参加しようと思ったきっかけは何ですか。（複数回答可）



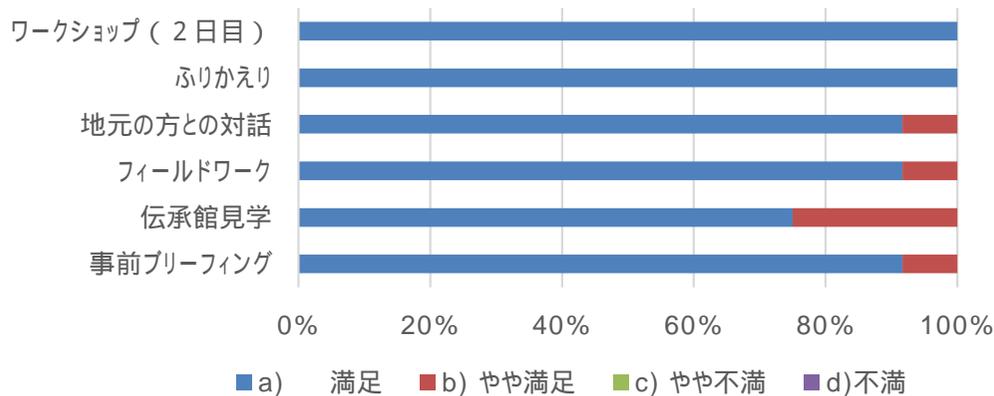
5. 今回のワークショップの続編があったらまた参加したいと思いますか。



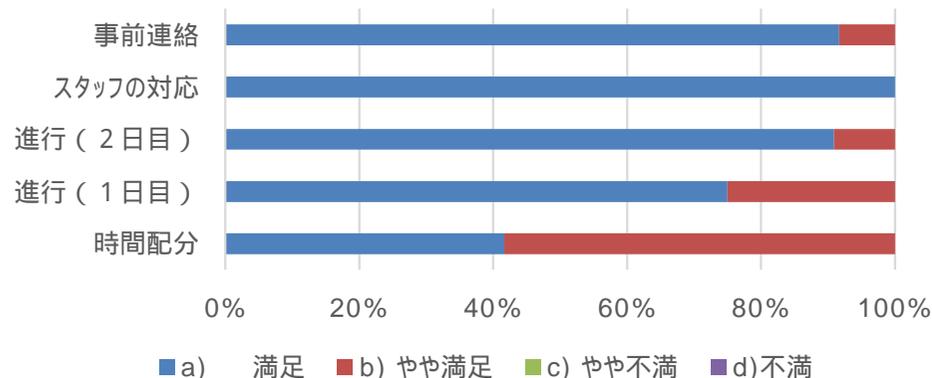
# アンケート結果

- ◆ フィールドワークや未来ワークショップを通して、双葉地方について新たな学びや考えるきっかけを得たようです。
- ◆ ワークショップでは、グループディスカッションを通して、自分と異なる意見から刺激を受けたこと、問題の解決について、自らの頭で考え、意見を交えることにより、自らが成長した手ごたえを得ている様子がうかがえます。
- ◆ 他校や違う学年との上下関係ない交流、ファシリテーターら大学生との交流が満足度が高かったようです。
- ◆ プログラム内容の満足度は概ね高いが、1日目の施設見学の時間がもっと欲しかった、との意見が多くありました。

Q1 今回のワークショップのプログラムには、どのくらい満足していますか。



Q2 今回のワークショップの運営には、どのくらい満足していますか。



## < 主な意見 >

### ○事前ブリーフィング

- 事前ブリーフィングの効用でワークショップ当日でみんなが充実した話し合いができていたと思います。これからも続けてほしいです。
- 当日の雰囲気・学ぶ内容を確認できて良かったため。
- 堅苦しくなく楽しんで行えた。
- 事前に話があることで、事前準備ができるから。
- 楽しくお話を聞かせてもらえたのですが、少し時間が長かった(押した)

### ○1日目(施設見学等)

- 他人の考えをたくさん聞くことができ、多くの学びを得た
- 今まで行ったことのない場所へのフィールドワークに行けてよかった。
- 丁寧に質問に答えてくださってよかった。
- いろいろなところを見学し、実際に自分の目で見ることで、震災がより身近なものになった気がした。
- はじめて会う人と一緒に現地に行けた。楽しく面白いわかりやすい説明があった。
- どの活動も班の皆さんと協力して楽しく行うことができた。  
見学場所を減らして、1つの密度をあげてもいいのかなとは考えた。  
伝承館の見学時間がもっと欲しかったと感じた。

# アンケート結果

## ○2日目（未来ワークショップ）

- これから必要になってくる協力や問の立て方など様々なことを学ぶことができました。この経験を他のことにも活かしていきたいです。
- **自分の考えに向き合うことができた。** 双葉地方のこれからについて深く考える良い機会になったと感じます。
- グループワークでは、みんなが意見を出し合っていて、楽しく内容を詰められた。
- 福島の問題がよくわかったし、**人によって全く異なる考えで面白かった。**
- スムーズにディスカッションできて良かったと思う。
- **様々な意見が知れてよかった。**
- グループのみんなと話し合いながら、いろいろ考えることができた。
- 班で協力したり作業したり、他の人の意見を聞いた。
- 何か私も力になれば嬉しいです。
- 良い経験になりました。友人も新しく作れました。楽しかったです。**今後も双葉に関わりたいです。**
- たくさんのものを見学して、多くのためになる話を聞いた。とても勉強になった。
- とても楽しく活動することができました。
- ファシリテーターの方々の鋭いアドバイスや、グループのみんなの柔軟な発言や意見、倉阪先生、鈴木先生 本当に二日間ありがとうございました。
- またお会いしたいです！
- **大学生の先輩や他校の人と関われる機会ができてよかった。**
- **グループの人だけではなく、いろいろな人と話すことができた。**
- 二日間、楽しみながら原発や、その周りの地区についてたくさんいろいろなことができた。参加して、すごくよかったです。
- 本当に楽しかったです。ありがとうございました！

## <全体を通じての主な意見>

- **様々な人との出会いがあって、新しい発見がありました。**
- あまり関わることのない他校の生徒の人や、上下関係をあまり気にせずできてすごく楽しくできた。
- わかりやすい説明や、実際に現地に行ったりして充実な二日間だった。
- **施設見学にもう少しゆとりがほしかったです。**しかし、この**2日間でやったことはどれも初めてのことばかりだったので楽しかったです。**
- **1日目はスケジュールが詰まっていたが、移動バス内の案内や施設内での案内が充実していて、分かりやすく情報としても感情的にも感じるものがたくさんあって、それを同班の子と話せたことがよかったです。**2日目も充実していて楽しかったです。
- 今回のふたば未来ワークショップに参加して、バスツアーでも、今まで回ったことない施設や建物を見学することができて、とても有意義な時間になりました。バスツアーなどを実施する際は、やはり移動時間も含めるため予定がハードになってしまいますが、**施設見学の時間や質疑応答の時間をせかくの機会なので、もっと取ればみんなの質問も消化されるのかなと思いました。**何はともあれ、このようなワークショップを企画していただいた関係者の皆様方には、多大なる感謝を申し上げます！
- **知らない人同士の少人数制の活動だったことで発言やお話がたくさんできたので良いと思いました。**同班の大学生との話ですが、**いろんな地域や年代の人と話すことは楽しいし情報もあっていいということを感じられたワークショップでした。**ですがJANUSやNDFの方々とお話しするほど知識に自信を持てなかったもので、いつかまたお会いして地域創生などを議論できるように、その意識を強めていこうと思いました。**今学校で受けている地域創生の授業にも興味を持ってました。**とても楽しい2日間をありがとうございました。JANUSやNDFの皆さん、これからもご活動を頑張ってください。
- 廃炉やこれからの未来について考える機会ができて良かったです。
- 運営さんの対応がご丁寧でやることにすごく感動しました。パソコンの接続が悪く、ブリーフィングに当日参加できなかった時も、録画を後日送ってくださりスムーズに見ることができました。これはとても助かりました。また、その他にも様々な質問やメールでの問い合わせにご丁寧に答えていただいた。運営の皆様方に感謝しています。ありがとうございました！